

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 子育て環境の充実

基本事業 学齢期児童への支援

事業名 **豊幌子ども広場開設事業**

[0163]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成12年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室子ども家庭課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>豊幌小学校区の放課後児童会運営団体</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供することで放課後の活動を支援する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>PTA、自治会、学校の三者により子ども広場を設置し、小学校の空き教室を利用して留守家庭児童と1～3年生の希望者に対し放課後支援活動を実施している団体に対し、運営費の一部を補助する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,785	3,242	3,242	3,242
活動指標2						
成果指標1	参加児童数	人	35	35	36	35
成果指標2	開設日数	日	210	225	240	250
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,785	3,242	3,242	3,242
正職員人件費 (B)		千円	837	836	830	416
総事業費 (A) + (B)		千円	3,622	4,078	4,072	3,658

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 3,242千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	豊幌地区には、放課後児童会、児童センターがないため平成13年度より学校、PTA、地域住民が協力して、豊幌小学校の多目的教室を主たる活動場所として地域の放課後児童対策及び健全育成に取り組み地域ぐるみ教育活動支援事業として実施している。
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
根拠は？

豊幌地区の放課後児童の生活を守り、親の働く権利と家庭生活を守るといった役割を持つ妥当な事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

豊幌小学校の多目的教室を主たる活動場所として地域の放課後児童対策及び健全育成に取り組み地域ぐるみ教育活動支援事業として児童館運営に準じる事業として貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
根拠は？

利用児童数の維持

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

既に理想的な地域ぐるみでの取組を行っている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
根拠は？

平成22年度から開設日数・時間等を増やすことで、補助金の支給要件を満たす予定。